

菅生子ども文化センターほしをみる会

## 親子200名が参加

### 月や木星に感動

菅生子ども文化センターで8月29日、ほしをみる会が開催された。会場には周辺に住む親子約200名が参加。当日は大ビンゴ大会のほかカレーや飲み物が用意され、賑わいを見せた。

ほしをみる会は毎年夏の終わりに開催され、今年で3回目。以前は子ども達に向けた講演会という形をとっていたが、3年前から時期をずらし、実際に天体望遠鏡を使った観測会を始めたという。

19時からほしをみる会が始まったが、当日は曇天ということもあり「見えないのでは」と懸念されていた。しかし、月と木星の観測に成功。参加した親子達は感動した様子で、天体望遠鏡を覗いていたという。

「子どもだけでなく大人にも来てもらって地域の親交を深めてもらえれば」との想いも込められ、模擬店を設け家族皆で楽しめるイベントとなった。



天体望遠鏡を覗き込み感動する子ども達。

来年4月から同センターは立替が決まっている。その間のセンターの活動は未定。ほしをみる会も行われるか分からないとのことだ。しかし、針山館長は「今後もこの会は続けていきたい」と話してくれた。